

千葉県 高校入試情報

令和7年度千葉県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は4問、小問数は27問でほぼ例年どおり。
- 昨年度よりマークシート式に変更。作図と証明は記述式。
- 大問1は各領域の小問集合、大問2は関数のグラフと図形の融合問題、大問3は相似の証明を含む三平方の定理、大問4は空間図形の総合問題。
- 今回も大問4は会話形式で、おうぎ形と円錐を転がしたときのようすを考える問題だが、会話文にヒントはある。
- 大問1は形式に大きな変化もなく、取り組みやすい小問が出題されているので、落ち着いて確実に得点したい。

★千葉県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■ 証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 合同の証明」(p. 82～83)、「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p. 96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p. 182～183)で、集中強化できます。

■ 関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり、1次関数や放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。
グラフと図形の面積の問題についても、対策しておきたい。

新研究で対策！

- 「変化のようすに注目！図形上の動点を考える問題」(p. 180～181)、「チャレンジ！関数と図形の融合問題」(p. 184～185)で、応用問題を解く力をつけることができます。

大問1の配点が51点で、半分くらいを占めているので、類題に多く取り組んでしっかり対策しよう。



★千葉県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
出題内容別の傾向	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式		●		
	方程式			●	
	比例と反比例		●	●	●
	平面図形	●	●	●	●
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●	●		
	2年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式	●	●		
	1次関数	●	●	●	●
	図形の調べ方	●		●	
	三角形			●	●
	平行四辺形	●		●	●
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図	●	●		●
	3年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●		●	●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質		●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査			●	
出題形式別の傾向	大問数	4	4	4	4
	小問数	25	26	27	27
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1
		その他の説明・証明など			
		立式・解法の過程の記述	1		
		作図(図形)	1	1	1
		作図(グラフ)	1		

★新研究で出題した千葉県の入試問題(令和7年度)

p.43大問5,p.81大問1,p.127大問2,p.169大問4